



2021年4月15日

各位

会社名 株式会社 エアトリ  
 代表者名 代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕亮  
 (コード番号: 6191 東証第一部)  
 問合せ先 代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕亮  
 (TEL. 03-3431-6191)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年3月15日に公表した2021年9月期(2020年10月1日～2021年9月30日)の通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年9月期 通期 連結業績予想数値の修正 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	24,300	1,000	940	561	27.09
今回修正予想(B)	24,300	1,300	1,240	741	35.74
増減額(B-A)	0	300	300	180	—
増減率(%)	0.0%	30.0%	31.9%	32.1%	—
(ご参考) 前期実績 (2020年9月期)	21,241	△8,994	△9,190	△8,692	△433.80

#### 2. 修正の理由

当社では、エアトリグループの“リ・スタート”に向けたグループ内の事業ポートフォリオの分散および再構築の一環として、前期より取り組んできた各種施策およびコスト削減の成果が継続して実現されていることから、既存事業(エアトリ旅行事業、訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業、ITオフショア開発事業、ライフインバージョン事業、ヘルスケア事業および投資事業)が、引き続き好調に推移しております。

前回の業績予想修正後においても、エアトリ旅行事業の海外旅行領域を除く既存事業はいずれも好調を継続しており、当初想定を上回る状況となっております。

エアトリ旅行事業の国内旅行領域に関しては回復傾向にあり、まん延防止等重点措置等の影響が一部あるものの、想定を上回る状況となっております。また、その他の事業領域に関しては、コロナ禍後の業績回復が想定以上で進み、あるいはコロナ禍でのまたはアフターコロナへ向けた新たな需要獲得等により、総じて好調となっております。

なお、売上収益につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響から、海外旅行領域の回復が鈍い状況であること、及びゴールデンウィークや夏場等の繁忙期へ向けた国内旅行需要回復等に依然として不確実性を伴うこと等から、前回予想から修正しておりません。

以上より、2021年9月期の通期の連結業績予想は、各段階損益が増加すると見込まれることから、前回公表した業績予想を上方修正いたしました。



(注) 上記業績予想につきまして、現時点で入手可能な情報に基づき判断及び仮定を行っており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。様々な要因には、今後の新型コロナウイルスの世界的な感染状況及びこれに対する政府等の対応により影響を受ける可能性があることが含まれます。

以上